

# 地域社会の一員として 中国で地域に根ざしたCSR活動を推進

OKIグループが展開するグローバルビジネスの中核エリア——中国においてプリンタ・ATMを生産する沖電気実業(深圳)有限公司では、現地の法令遵守はもとより、社員や地域社会に配慮したCSR活動に取り組んでいます。



沖電気実業(深圳)有限公司  
総経理

安藤 嘉孝

OKIグループは、2010年までにグループ連結売上に占める海外売上比率を50%まで高めることをめざすなど、事業のグローバル化を積極的に推進しています。事業展開にあたっては「OKIグループ企業行動憲章」に掲げている「国や地域との協調」に基づき、事業を行う国や地域の文化・慣習を尊重し、地域社会と良好な関係を構築し、ともに発展していくよう努めています。ここでは、グローバル展開の中核エリア、中国においてOKIグループ会社実践しているCSR活動を紹介します。

## 中国に生産・販売・開発拠点を設置し ビジネスを展開

OKIグループは、1997年に中国企業との合併企業を設立して以来、生産・販売、サポート、ソフトウェア開発などを行う現地拠点を次々と設立。現在、14法人、3事務所を擁して中国でのビジネスを拡大しています。

そのなかで、プリンタ・ATM(現金自動預払機)の生産を担っているのが2001年7月に設立した沖電気実業(深圳)有限公司(以下OSZ)です。OSZは、現地での需要の拡大に伴い、2007年1月に深圳市南山区に位置する新工場に移転。年間でプリンタ60万台、ATM3万台(ユニット生産含む)の生産能力を有し、現地社員1,600名を雇用する企業として、さまざまなCSR活動を展開しています。

## 体制づくり・社員教育の両面から 品質向上に取り組む

OSZは、拡大する市場からより高い信頼・支持を得るために、ISO9001に則った品質マネジメント体制に基づき、不良品を「入

れない、作らない、出さない」仕組みづくりを推進しています。たとえば、生産工程で問題が発生した場合は、警告灯を点灯させてラインを止め、その場で状況把握からは正処置の検討までを行い、改善されるまでラインを停止しています。また、プリンタにおいては印字、外観、内部構造の品質について全数検査を徹底しています。

また、社員教育にも注力。日本の技術者による生産技術研修や品質管理教育、新入社員や昇格者を対象とした階層別教育を実施しているほか、スキルアップの一環として、技能競技会を年4回開催しています。



プリンタの内観・外観検査の様子

## 事業活動、製品ともに環境配慮に注力

OSZは2003年にISO14001認証を取得しており、2007年度にはOKIグループの統合認証の仲間入りをめざしています。

製品の環境配慮にも積極的に取り組み、欧州で適用されるRoHS指令や中国版RoHSと呼ばれる電子情報製品汚染制御管理弁法などの環境規制に対しても、プリンタとATMで適応を完了。また、中国国内で販売するプリンタについては、2005年6月から順次、中国省エネルギー商品認証センターの「中国省エネルギー認証」を取得しています。

加えて、「鉛フリーはんだ付け技能者資格認定制度」をOKIグループの海外拠点で初めて導入するなど、鉛フリーはんだへの対応も進めています。



ATMの検査工程

## 社員がやりがいをもって働ける 環境づくりを推進

労働環境の整備もOSZにとっての重要なテーマです。OKIグループの基準に則った「安全衛生委員会」を設置し、労働災害防止計画の策定など労働安全衛生体制の強化を実施しているほか、これらの管理状況を確認するために、OKIによる安全実査を



原則年1回実施しています。また、現地の管理者に対しては、コンプライアンスや労務管理などに対する意識向上を目的としたマネジメント研修を実施しています。

こうした活動の結果、2006年に深圳市から労働法遵守模範企業として表彰されました。



OSZに贈られた表彰楯

### 地域との交流を基点に 社会との調和をめざす

OSZは、地域社会との調和も重視しています。2006年度は、6月と11月の2回、日本からの出向者を含む社員が南山区華僑城地区の高校を訪問し、学生と一緒に野球を楽しむなどの親睦を深めるとともに、用具の寄贈を行いました。

OSZでは、こうした地域交流を基点に、事業所周辺の南山区や深圳市で社会貢献活動の幅を広げていきたいと考えています。

### 社員の声

社員を大事にすることは、企業が社会的責任を果たす上での一番の基礎です。雇用の安定や福利厚生、個人のキャリアプランと会社の目標を一致させることによる勤労意欲の向上、施設の安全衛生管理など、会社の方針のもとで社員が働きやすい環境をつくり、社員への責任を果たすことが管理部の使命であると信じ、やりがいをもって取り組んでいます。また、外国企業として、研究開発・調達・製造などそれぞれの側面における環境保全への取り組み、あるいは地域の植林事業への参加や献血活動の実施などの社会貢献活動を通じ、今後ますます地域に貢献していきたいと考えています。



沖電気美業(深圳)有限公司  
管理部長

丁文

### OKIグループの中国での地域貢献活動事例

#### 陝西省の小学校で新校舎建設と既存教室の修繕を支援

2006年6月、OKIが中国の現地法人5社と共同で支援した、陝西省榆林(ユーリン)市にある付家畔(フジアパン)村小学校の改築が竣工を迎えました。

この支援活動は、OKIの創業125周年記念事業の一環として、財団法人日本フオスター・プラン協会(プラン・ジャパン)の「プラン特別プロジェクト」を通じて実施したものです。二階建て新校舎の建設をはじめ、既存教室、トイレ、校門・周壁、飲料水設備など各種施設の整備や、教材・図書などの寄贈を行いました。

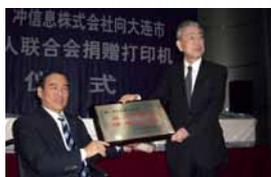


二階建ての新校舎

#### 大連市残疾人連合会にカラーLEDプリンタを寄贈

(株)沖データは、2007年3月、中国大連市の大連市残疾人連合会にカラーLEDプリンタ「C3400n」5台を寄贈しました。

大連市残疾人連合会は、障害者の自立支援を目的に1988年に設立された事業団体法人、中国残疾人連合会の地方組織で、リハビリセンターを含む20



カ所の拠点を有しています。近年はリハビリセンター内にPC教室を設けるなどIT教育に力を入れており、今回のプリンタ寄贈により、リハビリセンターなどにおける利便性の向上、カラー印刷による、よりスムーズな意思疎通などの効果が期待されています。

#### 常州市のCSR規格「CSA8000」の認証を取得

中国常州市のソフトウェア開発会社である沖電気軟件技術(江蘇)有限公司は、2007年3月、常州市企業社会的責任標準化委員会より、CSRに関する規格「CSA8000」の認証を取得しました。CSA8000は、人権・労働に関する国際規格「SA8000」をベースにした常州市独自のCSR規格です。

同社は、2001年の設立以来、献血活動への参加や地域の交通安全支援、恵まれない学生の支援などの社会貢献活動に努めてきましたが、より広範囲にCSR活動を推進するために、2006年にCSR推進委員会を設置。CSA8000の認証取得に向けて、マネジメントシステム導入や制度の整備、社員教育などを実施した結果、3カ月にわたる審査を経て同認証を取得しました。

